

明元寺便り

2021 (令和3) 年度
秋



【境内墓苑「沐風苑」完成】

前回の便りで紹介しておりました墓苑の工事がほぼ終了しました。一番奥に植える予定のシンボルツリーこそまだありませんが、名称を「沐風苑(もくふうえん)」として、現在は加入者の募集を行っているところです。

詳しい資料等必要な方は直接お寺へお越しいただき説明を聞か、またはパンフレット等の郵送も可能ですので、気になる方はお気軽にご連絡ください。



【法要等の行事について】

この度九月十三日～十四日の二日間予定しておりました秋の彼岸法要は、コロナ禍における緊急事態宣言の延長に伴い、急遽中止となりました。十月に入り緊急事態宣言は解除されましたが、秋冬の行事、特に年明けの報恩講などはその時の

コロナ感染の状況次第では内容も変わってくると思われます。

報恩講についての詳細は、年明けの冬号のご案内いたします。皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、何卒ご理解ください。

【やまでらもみじコンサート】

例年十一月にはもみじ法要を開催しておりました。昨年はコロナ禍の影響で中止となりましたが、今年は少しかたちを変えて開催いたします。

「やまでらもみじコンサート」

・日時 十一月十三日(土)

午後二時～

・場所 明元寺 門信徒会館

・参加費 無料



これまでと違い、開始時間が昼からとなり、参加費は無料となっておりますのでお気を付けください。また、懇親会もございません。

内容は、アイリッシュハーブと尺八とパーカッションによる演奏会です。皆様どうぞお越しください。

【真宗の作法—普段のお勤め—】

前号で、浄土真宗において大切とされるお経とは、『浄土三部経』であると書きました。しかし普段お寺の法要などで、皆さんと一緒に勤める

機会が多いのは、赤いお経本(『日常勤行聖典』)の一番初めに載っている「正信偈」ではないかと思えます。

この「正信偈」は『浄土三部経』のようなお釈迦様直接の言葉ではなく、浄土真宗の開祖・親鸞聖人のお書物に説かれた言葉です。親鸞聖人が、お釈迦様の説かれた阿弥陀様のお心、そしてその教えを伝えて下さった多くの高僧方の功績を讃えながらよろこばれた詩が「正信偈」なのです。

ですので、厳密にはお経の定義からは異なるものではあります。浄土真宗では昔から、親鸞聖人の残して下さった言葉をお釈迦様と同じように大切に、敬いの気持ちをもって「お経」と呼び、日常のお勤めとして定めています。

「正信偈」とは、親鸞聖人が私にお念仏に出会うよろこびを教えて下さるお勤めです。

【後述】

今年は桜からはじまり、藤や彼岸花等、季節の花の見ごろが早かったように思います。これからの秋の紅葉はどうでしょうか。明元寺の紅葉もぜひ見に来ていただきたいと思えます。

また、上の段でも書いているように、いよいよ「沐風苑」加入者募集がはじまりました。管理費等、後々の費用がかからない永代供養型の墓苑です。現地の見学や資料請求も受け付けておりますので、どうぞお気軽にお尋ね下さい。



2021 (令和3) 年度 秋

明元寺ホームページは

こちらから

